

浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に
志高く未来を切り拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 7 2019. 9. 17 (Tue.)

汗は舞う 地鳴く 風湧く 体育祭



暑い日射しと強い風が吹く9月7日(土)、第11回体育祭を開催しました。たくさんのご来賓、保護者や地域の皆さまにお出でいただきました。ありがとうございました。おかげさまで、先生方の熱心な指導と生徒たちの一生懸命な姿勢ですばらしい体育祭ができました。

「みんなの力は、すごい!」、期待どおり全員が最高のパフォーマンスを発揮してくれた体育大会でした。どの演技も最後まで決めてあきらめず、全力を出し切るカッコいい姿に、まわりから大きな拍手と声援があがり、グラウンドは熱くも爽やかな空気に包まれていました。徒競走も各学年演技も綱引き、棒引きも、必死な形相にもフェアプレーに徹し、みんなで力を合わせ、楽しんでやっているようにも見えました。組体操では、その是非について様々なご意見のあがっている昨今ですが、高さや大きさではなく、違った様式美を求めるような組体操に方向を変化させました。そして、1学期から体育の授業で渡辺絢音先生(ダンスインストラクター)に習ったYMCAも取り入れました。女子のソーラン節も今までで一番よくまとまっていた演技だったと思います。何より、女子生徒たちのソーランに賭ける強い思いを感じ取ることが出来ました。いずれも少ない日数でよく仕上げた、と感心しました。

とくに、応援合戦は、紅白ともリーダーと団員が見事にマッチングし、大きな声と多様な振りを合わせ、迫力ある一体感の伝わるすばらしさを演出しました。完成度の高い応援は、夏休みから創意工夫を凝らして準備したリーダーと、全員練習はたった5日間ではあっても一人一人の頑張り、いいものにしたいというみんなの団結心があったからこそできあがったのだと思います。全校応援でも中学校の応援のスケールの大きさと応援に向き合う真剣な眼差しに、ご来場の皆さまも心に響くものを感じ取っていただいたと思います。最後の体育祭となる3年生は、後輩の指導を通してその難しさを実感しつつも、一方で課題を乗り越え、最後までやり切った充実感を得たはず。本当にぐいぐいとリーダーシップを発揮し、頼もしく大きく見えた3年生でした。1・2年生も必死に頑張っている仲間の姿、みんなを盛り上げ引っ張ってくれている先輩の思いに奮起し、それぞれの立場に立って考え、行動できたからこそ、「村中ブラらしい体育祭になったのだと確信しているが、「あんな先輩になりたい」「私も、ぼく-リーダーになって頑張る!」という感想をしていますが、これこそがよき伝統となり、まさに「つなぐ・つなぐ」ことの大切さを我々に教えてくれます。体育祭の取り組みを通して、「一生懸命だからカッコいい!」を実証してくれました。すばらしい生徒たちの姿に心ふるえる体育祭でした。



全国学力・学習状況調査の結果から (概要)

【教科】

4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果を文科省が7月下旬に公表しました。兵庫県内は中学校国語・数学・英語とも「正答率が全国平均並み」と新聞紙上に掲載されていました。本校の結果と概要についてお知らせします。

本校では、国語・数学・英語3教科とも国・県の各平均正答率を4~9ポイントも上回るという、過去最高の結果が出ています。各領域別でも10P以上も上回っている項目もあります。ここ2年間の授業や指導法に間違いなかったことが確認できました。

ただ、英語の「話すこと」については全国平均並みながら課題も感じています。国語も含めた「語彙力」との関連もあるのでは、と思います。国語では「読解力」特に似たような長い文や、主語・述語・修飾語の順序が変わったりすると読み取りが浅い傾向があります。また、全国的に共通していることですが、数学の「関数」も他の領域よりも課題が多いことがわかっています。

本校ではこれらをもとに詳細な分析を行い、その結果を2学期の授業に活かしていきます。個票をお渡ししますので、自己の課題を見出し、学力向上に努めていきたいと考えています。ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

【生徒質問紙で見えること】 (○とても望ましい ●改善すべき)

- 「自分にはよいところがあると思う」「先生は、自分のよいところを認めてくれている」「ものごとを最後までやり遂げ、うれしかったことがある」などの問いについては平均よりかなり高く、着実に自尊感情が育っていることがうかがえる。
- ほとんどの生徒が「先生は、間違ったところ、理解していないところをわかるまで教えてくれる」と答えており、教師と生徒の良好な関係がわかる。
- ほとんどの生徒が「学校に行くのが楽しい」と感じている。
- 全員がいじめは絶対に許されないと考え、人に対する配慮や意識も高い。
- 家庭では、学校のことを保護者と会話する生徒が多い。
- 家庭学習はほとんどの生徒が毎日するが、時間については少ない傾向がある。
- 新聞を全く読まない生徒が半数おり、読書も含めて活字に触れることが多い生徒の正答率が高い。



久保田先生 着任!

産休に入られた尾林先生の後任として、17日付けで久保田敦子先生が着任されました。1年生の副担任、英語の授業を担当していただきます。長年、中学校で教鞭をとられ、小学校での経験も豊富な先生です。豊岡からの遠距離通勤になりますが、よろしくお願いします!

(文責: 才田 覚)

《 村岡中学校 HP <http://muraoka-jhs.kami-hyogo.ed.jp/> 》